


## 安全データシート

改訂日:2023年4月21日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	硝酸アルミニウム九水和物
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CB1938
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	酸化性固体:区分3
物理化学的危険性	急性毒性(経口):区分5
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分3
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分2A
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	火災助長のおそれ;酸化性物質 軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 飲み込むと有害のおそれ(経口)
注意書き	【安全対策】 熱から遠ざけること。 可燃物, その他の禁忌物質と混合を回避するために予防策をとること。 保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。 【応急措置】 火災の場合には適切な消火方法をとること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 取り扱った後、手を洗うこと。 【保管】 可燃物, その他の禁忌物質から離して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	硝酸アルミニウム九水和物
別名	—
化学式	Al(NO <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> ·9H <sub>2</sub> O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 7784-27-2
含有量	97%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-20 / 公表
その他	HSコード: 2834.29
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 意識喪失の危険がある場合、待機、搬送は安定な側臥位で行う。 呼吸困難の場合、人工呼吸、酸素吸入を行う。 医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水で最低15分間洗浄し、汚染した衣服や靴を脱がせる。 医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、ただちに医師の診断を受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	散水。二酸化炭素やハロン(R)は限られた効果しかない。
使ってはならない消火剤	粉末消火剤, 泡消火剤, 棒状注水
特有の危険有害性	火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱により、容器が爆発する恐れがある。
特有の消火方法	火災区域に適度の距離から大量の水を散水する。

消火を行う者の保護	容器を水噴霧で冷却、できれば危険地域外へ移す。 この物質が加熱または周辺部火災によりすでに溶融している場合、強烈な棒状注水をしてはならない。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し、風上から作業して、風下の人を回避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険を伴わない場合は、漏えい部をふさぐ。 防止堤で囲み、密閉容器に入れ、安全な場所に運ぶ。 可燃性物質との接触をできれば防止する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
安全取扱注意事項	可燃性物質と接触すると火災を起こすことがある。 呼吸器系および皮膚を刺激する 炭素、硫黄、砂糖などの可燃性粉末と混合すると加熱または衝撃により、発火または爆発する危険がある。 吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 可燃物との接触を避ける。 可燃物、熱源、火花、裸火 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	可燃物、熱源、火花、裸火から遠ざけておく。 直射日光を避け、冷乾燥場所に密封して保管する。
容器包装材料	ガラス, ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	TLV-TWA 2mg/m <sup>3</sup> (AIとして)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護長靴、保護衣
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	潮解性の結晶
色	白色
臭い	無臭
融点/凝固点	73°C(結晶水に溶ける)
沸点又は初留点及び沸点範囲	分解温度: 135°C
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	135°C
pH	水溶液は酸性(pH=約4)
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水: 64g/100mL(25°C), エタノールに易溶。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	該当情報なし
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常取扱いで安定である。 空気中で風解しやすい。 潮解性がある。
危険有害反応可能性	分解されるまで加熱または火災の場合、有毒な酸化窒素を生じる。 すべての他の可燃性物質の燃焼性を著しく高める。 反応性に富み、酸素を放出する(燃焼促進性の)不燃性固体。 酸化されやすい材料と接触するとき、激しい反応が生じ、その結果、発火、激しい燃焼または爆発が起こりうる。
避けるべき条件	日光, 熱, 湿気

混触危険物質 危険有害な分解生成物	強還元剤, 金属粉, 強酸, 可燃物 酸化窒素, 酸化アルミニウム
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: ラット LD <sub>50</sub> 3671mg/kg 経皮: 該当情報なし 吸入: 気道を刺激する。 (粉塵) ラビット 500mg; MILD ラビット 100mg; SEVERE 100mg/4S rinse; MILD
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	呼吸器: 該当情報なし 皮膚: 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	
生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(反復暴露) 誤えん有害性	
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 該当情報なし (急性) 長期: 該当情報なし (慢性)
残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性	該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
汚染容器及び包装	
14. 輸送上の注意	
国連番号	1438
品名(国連輸送名)	硝酸アルミニウム
国連分類	5.1
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	140
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[アルミニウム水溶性塩] 危険性又は有害性を調査すべき物[アルミニウム水溶性塩] 危険物(酸化性の物) 有害物質 酸化性物質 酸化性物質 酸化性物質
水質汚濁防止法	
船舶安全法	
航空法	
港則法	
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) Merck Index 14th The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II  化学大辞典(共立出版) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) REAGENT CHEMICALS 10th(ACS)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。